



「自産自消」のできる社会へ



私たちの身体は食べもので支えられ、
その食べものは土、つまりは自然によって育まれています。

自分の手で耕し、育て、食べる。

じさん じしやう
「自産自消」の輪を広げ、

人と自然の関係をもっと身近に、より豊かに。



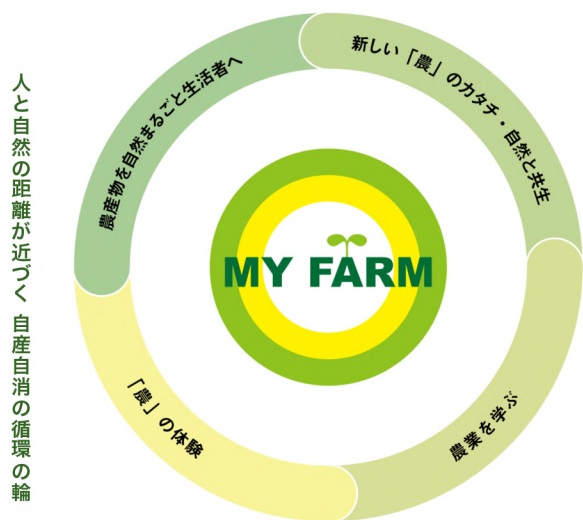
Vision

“マイファームは「自産自消」の輪を広げることで、 人が自然を育て、自然が人を育てる未来を実現する会社です”

「自産自消」＝自分たちでつくり、自分たちで食べてみる。

この言葉に、私たちマイファームが目指す理想の社会の姿があります。
自然に触れる楽しさ。自然と共に生き、それを仕事にすることの素晴らしさ。
その産物を食べ、自然について語り合い、感謝すること。人が作物を育てるように、人も自然に育てられていること――。

人と農の距離が遠く離れたものになりつつある今。
マイファームはもう一度、自然の営みの中でのワクワクする気づきを呼び起こすための仕組みをつくりたいと考えています。
農にまつわる「ヒト・コト・モノ」という側面から多面的に捉え、活動の一つひとつがつながり、輪となり、循環していくことで、
人と自然の距離が近い「自産自消」のできる社会を目指します。



私たちが定義する自産自消のできる社会とは

- ① 自然に触れる楽しさ・面白さ
- ② 自然と共に生き、それを仕事にすることの素晴らしさ
- ③ その産物を自然まるごと食べ、自然について会話し、感謝すること
- ④ 人が作物が育てるように、人も自然に育てられていること

「農」の体験

- 体験農園マイファーム
- 農園・公園の管理
- 農体験プロデュース
- 地域協働就農支援事業

農業を学ぶ

- アグリイノベーション大学校
- 農の学校 ● みらい農業学校
- 就農促進支援事業 ● 学生向け農業研修
- 農業者向け経営塾 ● 新規就農者向け農業塾
- 札幌静修高校通信制ファスコース

新しい「農」のかたち・自然と共生

- 薬草栽培事業
- 国・自治体向けコンサルティング
- 農業生産事業の参入支援
- 有機農業研究開発・支援事業
- 農業人材紹介・派遣事業
- ソーラーシェアリング

農産物を自然まるごと生活者へ

- 農産物の流通・販売
- お茶生産・ドリアン生産販売

Message

農を起点に、次世代へと続く社会をつくる

故郷・福井県三国町での家庭菜園がきっかけで、野菜づくりと植物採集に没頭する少年時代。その中で気づいたのは、耕作放棄地の多さや、後継者不足・高齢化による農家さんの減少、そして何よりも、社会の中で農や野菜の存在があまりにもそんざいに扱われている現実でした。こうした農をとりまく現状を見直し、矛盾を正したい、農業へのハードルを下げたいという思いから、マイファームを立ち上げました。

早く行きたいなら一人で行きなさい。遠くへ行きたいならみんなで行きなさい。
(アフリカのことわざ)

私が大切にしているこの信念のもと、社員、スタッフ、全国にいる仲間とともに、農を起点にした次世代に続く新しい社会づくりにチャレンジしていきます。

株式会社マイファーム 代表取締役

西辻 一真



西辻 一真 KAZUMA NISHITSUJI

2017年 総務省「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞受賞
2021年 学校法人札幌静修学園理事長 就任

1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。幼少期から農業が好きだった、という想いのまま、世界中の耕作放棄地が無くなり、皆が農業を楽しむ社会になってほしいと会社を設立。自産自消の理念を掲げ、体験農業事業、アグリイノベーション大学校事業、流通事業、農家レストラン事業、農産物生産事業など、農業に関する多様で、新しい仕組みを産み出している。

人と農をつなぐ

業界への新提案

三位一体のコングロマリット経営



農業の未来を、一つの会社だけではつくれません。株式会社マイファームは、体験農園や農業教育、流通、企業・行政コラボなど多方面のビジネスで農業の魅力を拡大してきました。

ここから先は「株式会社」「学校法人」、そして「コモンズ（農協）」三位一体のコングロマリット経営で社会全体で自産自消のできる仕組みを構築していきます。



－ 体験農園 －

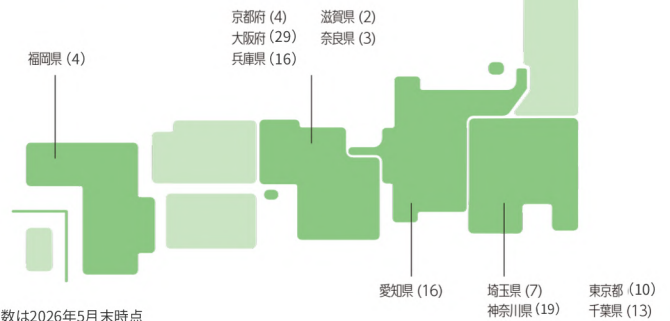
とっておきの野菜づくりを

都会の真ん中に、畑をつくる。

全国120ヶ所以上、東名阪や福岡など都市部を中心に展開する体験農園は、個人・企業ともに「とっておきの野菜づくり」ができる空間で、自産自消の循環の入り口として創業当初から続く事業です。

耕作放棄地や遊休農地を再生することで、社会課題を解決しながら、土に触れることが日常になる体験を提供。シニア層から子育て世代、自然や社会課題に関心のある若者まで、累計数2万人以上が楽しんでいます。

体験農園マイファームは
全国に120カ所以上!



※農園数は2026年5月末時点



－ 自治体 × 自然体験 －

地方創生や遊休農地の活用、自治体が抱える課題解決に。近年、世田谷区市民農園や千葉市ふるさと農園の管理など、多くの自治体からの「新しい農体験空間」をデザインして欲しいという依頼が増えています。マイファームが持つソフト（ノウハウ）とハード（仕組み）を導入することで、場所を単に貸し出すだけの空間を、農体験を通して気づきや学びが得られる空間へとアップデートしています。



－ 郊外 × 滞在型の農体験 －

日本の老舗クラインガルテン（滞在型市民農園）である「笠間クラインガルテン」のリブランディングおよび民間運営を担っています。都内から90分のアクセスによる二拠点田舎暮らしを現代風に提案し、地域交流が生まれる関係人口を創出。その評価から、他自治体からもクラインガルテンを起点とした自然体験コミュニティに関する地域計画の相談をいただいています。

－ 農業教育 －

学 び で 、 未 来 を 耕 す



農業を「仕事」や「人生の一部」にするための総合的な学び。
累計2,600人の卒業生を輩出している「アグリイノベーション大学校」は、
日本における農業教育のトップランナーです。農業知識だけでなく仲間を欲している
都市部の農業関心層に対し、独自のカリキュラムとコミュニティを提供。技術や知識だけでなく、
卒業後も続く「卒業生ネットワーク」によって、農業界との接点を持ち続けられます。
私たちの農業教育事業は、知識の提供にとどまらず、農業を本気で学びたい人々の未来を耕しています。

自治体 × 農業学校が 移住戦略の起点になる

自治体×農業学校を公民連携で行っていくケースが急増しています。マイファームでは兵庫県丹波市立「農の学校」、福島県南相馬市「みらい農業学校」を運営しており、各自治体からのモデル校となっています。
これらの学校が、学びと暮らしと仕事を繋ぐ「移住に適した仕組み」の新スタンダードです。



－ コープ・農協連携 －

食 で 、 新 し い 価 値 を つ く る



緻密に構築された食の流通は、これまで私たちの「お腹」を満たす役割を担ってきました。
しかしこれからの農業には、人々の「心と健康」も満たす、新しい価値が必要です。
そこで注目しているのが、新しい形の農協「コモンズ」です。
私たちは「WE農協」を立ち上げ、既存の枠を超えた挑戦を始めています。エリアを超えた、環境保全型農業に特化した新しい農協として、より豊かな食の未来を目指します。また、業界を超えて手を組み、SPS (Sustainable Produce System) 研究会を立ち上げるなど、多角的な視点から流通のあり方を変えていきます。

「食べる」をもっと豊かに 人と人をつなぐ流通へ

2C/2B/農業者/流通の全方位と向き合ってきたからこそ、食の流通の未来が見えています。

東雲（東京都江東区）に自社倉庫を持ち、出荷代行も行う私たちは、企業や個人のニーズに合わせた柔軟な流通が可能です。
独自のネットワークを活かした独自食材の提案や、COOP MYFARMによる「食と農」をセットで体験する企画もご提案します。



－ 企業連携 －

想像を超える、楽しさと可能性



その他の連携事例はこちら

かつて「農業ベンチャー」と呼ばれた私たちは、志はそのままに「農業界プラットフォーマー」へと成長しました。多様な知見と業界屈指のネットワーク、R&Dを基軸とした専門力を武器に、パートナーとして共に農業界を歩んでいく。それが私たちの新たな役割だと考えています。合言葉は、「早く行きたいなら一人で行きなさい。遠くへ行きたいならみんなで行きなさい。」



大手材料メーカー

クライアント企業が開発した新素材を農業現場で活用するためのPJに参画。ラボレベルで素材の効果検証を行い、当社圃場、生産者圃場にて比較実験等を行いました。また商品化にあたりマーケットや競合商品の調査等も同時に進め、プロジェクトの具体化のサポートを行いました。



大手投資会社

取得した8haの農地での自社農業事業の開始にあたり、生産品目選定、販路の確定、生産技術の装着、初期の営農サポートを当社に依頼。農業参入への併走に加えて、現地、市、県行政とも連携することで、クライアントの信用の向上や、参入時のトラブル削減を行いました。



医薬品・食品大手販売会社

クライアント企業の理念「土や農業を大切にする」考えに基づき、農業支援CSR活動をサポート。生産者育成・技術サポート、農産物買取支援等の実務を行いつつ、PJの方向性に対しての助言を行い、理念及びCSRとしての取り組みを強固にすべく、農業生産側からサポートしました。

－ 行政連携 －

地域と人が育つ、新しい仕組みを

新しい農業を、制度から変えていく。

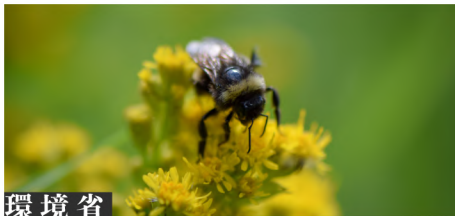
当社の強みは、行政との強い関係性です。代表は戦後最年少で農林水産省政策審議委員に就任した経験を持ち、経営層には元農林水産省事務次官や全国農協青年組織協議会の会長も名を連ねます。

これらの経験とネットワークを活かし、単なる事業提案に留まらず、政策提言から共に行い、農業界に新しい風を吹き込みます。



農林水産省

農林水産省の事業を受託し、農業の未来を共創しています。有機農業推進やGAP認証支援、女性農業者の研修、フードバンク活動など、多岐にわたる分野で実績を重ねています。私たちは社会課題を解決し、新しい農業のあり方を国や行政と共に生み出します。



環境省

環境省の事業を受託し、農業を通じた生物多様性保全を推進しています。耕作放棄地を再生し、農業地域や里山を守ることは、生き物が暮らす環境を創出することに繋がります。私たちのノウハウで、農業と自然が共生する持続可能な社会づくりに貢献します。



内閣府・地域

内閣府の事業を受託し、沖縄の農業を支援してきました。パイン等の県産品流通やLFPコミュニティづくり、「ぬちぐすいフェア」の企画など新しい食の価値を創造。沖縄の風土を活かした持続可能な農業の未来をつくっています。

Company Information



会社概要

社名	株式会社マイファーム (英文表記: MY FARM Inc.)
設立日	2007年9月26日
資本金	1億円
役員	代表取締役 西辻 一真 取締役副社長 谷 則男 専務取締役 浪越 隆雅 取締役 石原 北斗 監査役 横山 紳 (元農林水産省事務次官)
所在地	[本社・京都オフィス] 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1階 [東京オフィス] 東京都港区三田2丁目14番5号 フロイントゥ三田508号室 [福岡オフィス] 福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目14番3号 第2サンライト東口ビル1F [沖縄オフィス] 沖縄県那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ9F
グループ会社	合同会社アワーファーム、株式会社プレファーマ
主要株主	ロート製薬株式会社、株式会社T's International、株式会社ツムラ、株式会社マイナビ、自然電力株式会社、株式会社welzo、カーコンビニ倶楽部株式会社、DCMホールディングス株式会社、ソフトバンク株式会社、前田工織株式会社、東京センチュリー株式会社、ベルグアース株式会社、尾道産業株式会社、株式会社ラプラス・システム、株式会社富山、株式会社ナンバ、全国農業協同組合連合会
主要取引銀行	りそな銀行、京都信用金庫、京都銀行、日本政策金融公庫、関西みらい銀行
主要取引先	農林水産省、内閣府、沖縄県、東京都世田谷区、兵庫県丹波市、福島県南相馬市、福島県浪江町、大阪府泉大津市、株式会社ツムラ、自然電力株式会社、株式会社マイナビ、学校法人滋慶学園、日本たばこ産業株式会社、カルビーかいつかスイーツポテト株式会社ほか

役員紹介

取締役副社長 谷 則男

1962年京都府城陽市生まれ。家業を継ぎ、湧水花卉・花壇苗・野菜苗生産の専業農家として現在に至る。全国農協青年組織協議会会長など要職を歴任し、現在は城陽市農業委員会会長を務める。

取締役 石原 北斗

1983年千葉県生まれ。東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術に関する研究に取り組む。2012年マイファーム入社。生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括。

専務取締役 浪越 隆雅

1984年香川県生まれ。東京理科大学理学部卒業。2011年マイファーム入社後、複数事業の立ち上げに寄与し、現在は企業や行政を対象とした農業アドバイザー業務に幅広く携わる。

所在地

【本社】京都オフィス

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1階

QRコードから
Googleマップへ



東京オフィス

〒108-0073 東京都港区三田2丁目14番5号
フロイントゥ三田508号室

QRコードから
Googleマップへ

